



令和8年2月2日

## 令和7年度NBC災害総合訓練の実施について

今年には福島第一原子力発電所事故対応から15年の節目となることから、爆発した化学工場から放射性物質及び化学薬品による毒性ガスが漏えいし、複数の傷者が発生した想定による訓練を実施します。また、本訓練においては、東日本大震災後に創設された陸上自衛隊第1師団初動対応部隊（ファスト・フォース）、立川市及び東京DMATが参加し、関係機関の連携強化を図ります。

なお、令和7年7月に東京都国民保護計画が改正されたことを踏まえ、関係機関による現地調整（住民の避難対応等）を訓練に取り入れます。

### 1 実施日時

令和8年2月6日（金） 10時30分から12時00分まで

### 2 実施場所

東京消防庁第八消防方面訓練場（東京都立川市1156番地の1）

### 3 訓練想定（別紙参照）

X県において化学工場に対する爆破テロが発生し、国民保護法に基づく緊急対処事態として認定された最中、都内において放射性物質を取扱う化学工場が何らかの原因で爆発し、周囲に放射性物質及び化学薬品による毒性ガスが漏えいしたとの想定で訓練を実施します。

なお、本訓練において、国内消防機関において初めての導入となる4足歩行ロボットを活用します。

### 4 統裁者

第八消防方面本部長 小野寺 道範（おのでら みちのり）

### 5 参加隊（計21隊 100名）

即応対処部隊、消防救助機動部隊、化学機動中隊、救急機動部隊、指揮隊、ポンプ隊、特別救助隊、救急隊、人員輸送小隊等

### 6 参加関係機関（計4機関 約50名）

陸上自衛隊第1師団、立川市、東京DMAT 2隊（独立行政法人国立病院機構災害医療センター、東京都立多摩総合医療センター）

## 7 取材について

(1) 取材を希望される社は、2月5日(木) 12時00分までに広報課報道係までご連絡ください。

(2) 当日は9時30分から報道受付にて受付を開始します。訓練場へは、受付開始時間以降に到着するようにしてください。

取材に際するレクチャーを10時00分から撮影エリアにて実施します。  
(別紙参照)

(3) 取材にあたっては自社腕章を着用し、場内では係員の指示に従い、事故防止に配慮してください。

(4) 駐車場の利用を希望する社は、取材申し込み時に駐車場を利用したい旨をお伝えください。

なお、駐車場へは別図に記載されている入口から入場し、入口で報道関係者である旨を伝え、駐車場の係員の指示に従い駐車してください。

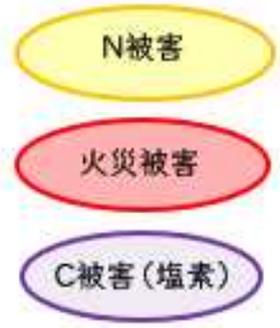
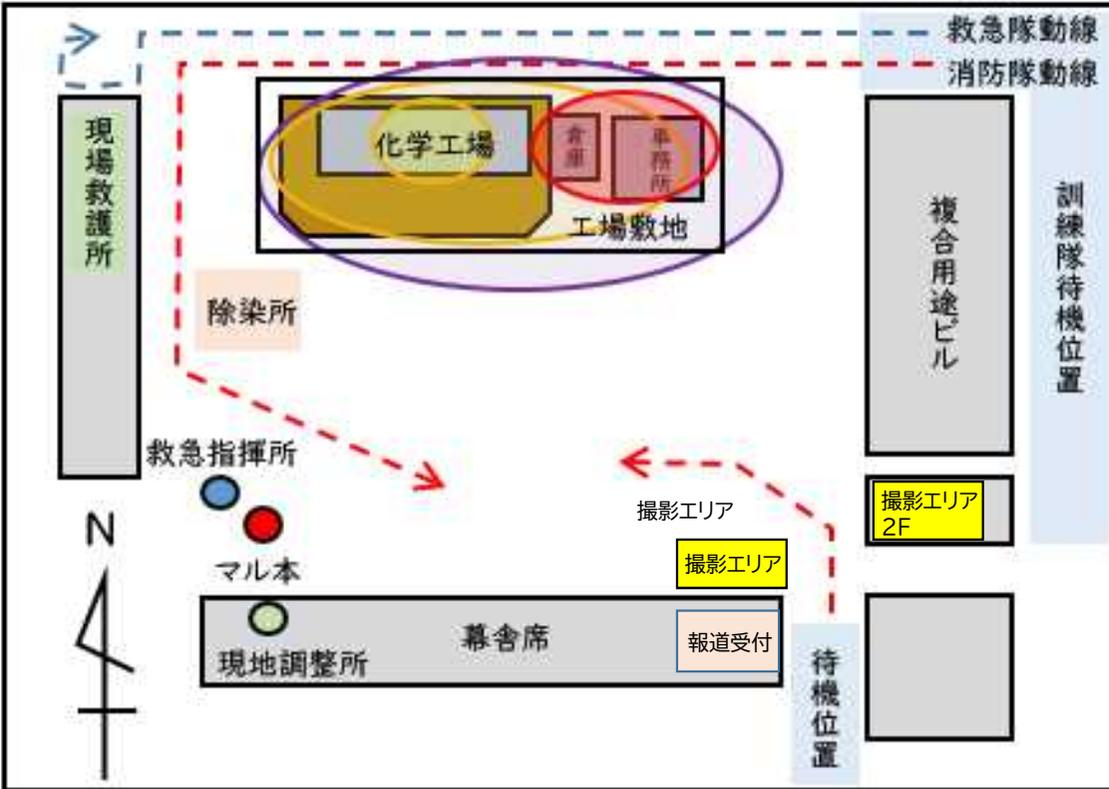
※他の入口からは入場できません。

問合せ先

〔東京消防庁(代) 電話 3212 - 2111  
特殊災害課化学災害係 内線 3715  
広報課報道係 内線 2345~2349〕

訓練レイアウト

風位風速:南1m



想定イメージ

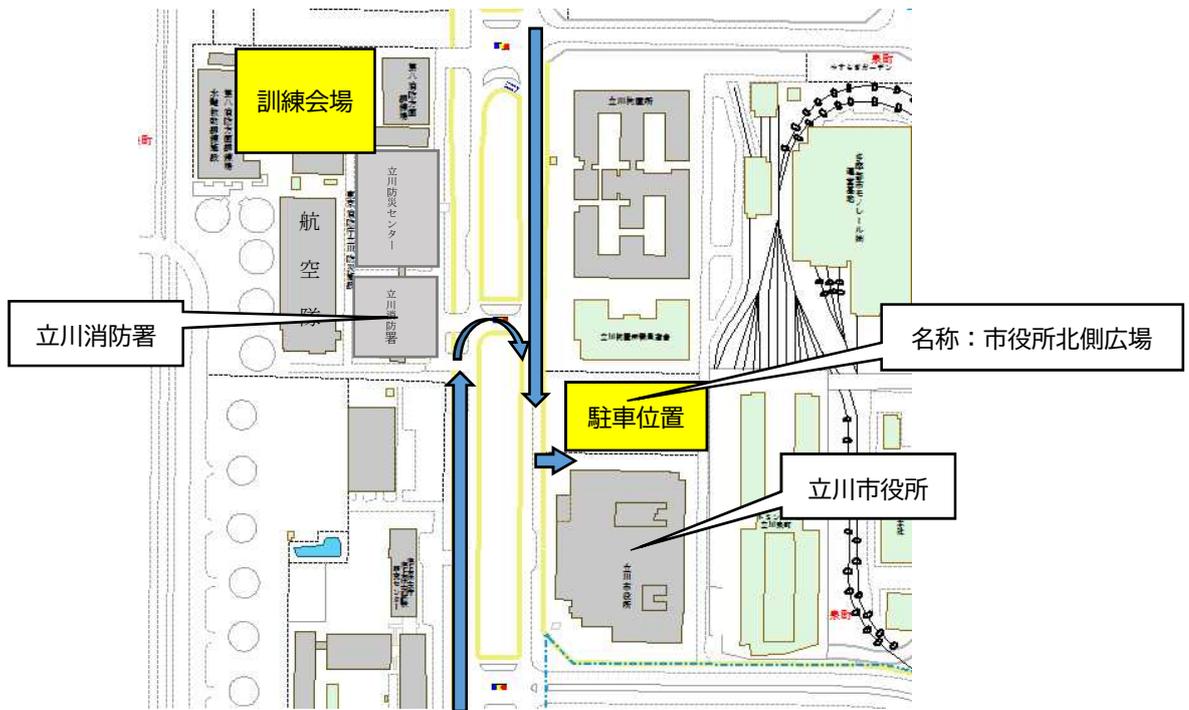


被害想定

- 【火災による被害】
  - 工場爆発火災により出火
  - 焼損建物:工場:延焼なし
  - 倉庫、事務所:半焼
- 【放射性物質による被害】
  - セシウム137
  - 工場内(1mSv/h)
  - 工場敷地内 工場周囲(100μSv/h)
  - 事務所付近(1μSv/h)
- 【毒性ガスによる被害】
  - 塩素
  - 工場内(10ppm)
  - 工場敷地内(0.5ppm)
  - 工場敷地外北東側(若干の刺激臭)
- 【要救助者数:8名 避難誘導:36名】
  - 火災:8名(N、C暴露:8名)
  - 工場:4名、倉庫:2名、事務所:2名
  - 自力避難:2名(工場関係者)
  - 避難住民:36名(複合用途ビル)
  - 自力32名、介添え4名(車イス含む)
- LPG
  - 工場内(0%LEL)
  - 工場敷地内(0%LEL)

別図

市役所北側広場（駐車場）への進入要領



※係員を配置しますので係員の指示に従ってください。